

## 第 36 回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要項

1. 目的 看護基礎教育における臨地実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を習得する。
2. 主催 山形県
3. 事業実施 山形県看護協会
4. 期間 令和 7 年 4 月 25 日（金）～6 月 18 日（水）（191 時間）  
開講ガイダンス：令和 7 年 4 月 25 日（金）10 時～12 時（2 時間）  
ハイブリッド開催。Zoom または来館のいずれかを選択する。  
e ラーニング期間：配信可能となった日（未定）～6 月 8 日（日）（60 時間）  
集 合 研 修：令和 7 年 5 月 14 日（水）～6 月 18 日（水）（129 時間）
5. 会 場 e ラーニング：4 月 25 日（金）～5 月 13 日（火）受講者所属施設・自宅等  
5 月 14 日（水）～6 月 6 日（金）上記の他、集合研修会場  
集 合 研 修：山形県看護協会会館・看護研修センター 第 2 研修室  
\*5 月 14 日以前に、当会館研修室で e ラーニング受講を希望するものは、事前に講習会担当者（Tel 023-685-8033）に申請すること。
6. 募集人数 40 名
7. 応募期間 本状到着後～令和 7 年 4 月 10 日（木）厳守
8. 受講資格 看護業務経験 5 年以上を有し、本講習会および専任教員養成講習会の受講歴がなく、次の各号のいずれかに該当する者。  
1) 看護師等養成所の実習施設で実習指導者の任にある者。  
2) 将来、1) の施設で実習指導者となる予定にある者。  
3) 1) の養成所で実習指導の任にある者。
9. 内 容 保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱に基づき、別表の内容・時間数で実施する。
10. 修了証書 必要単位 10 単位（180 時間以上）を取得したものに、修了証書を交付。  
※単位修了要件は以下の通り  
1) e ラーニング科目は、全講義を受講して確認テストを実施後に、単位認定テストを受験し合格すること。（合格基準 60%。満たない場合は再受験可）  
2) 集合研修科目は、科目時間数の 4/5 時間以上の出席をすること。

- 1 1. 申込方法 研修管理システム manaable(マナブル)より申し込む。  
manaable 未登録の方は、当協会ホームページ上の manaable 専用バナーから利用登録をし、申込手続きをすること。
- 1 2. 受講決定 以下選考基準により、4月11日(金)に manaable 上で承認・非承認を通知し、4月14日(月)に看護管理者あてに書類を eメールで送信する。  
選考基準 1) 受講資格を満たしていること。  
選考基準 2) 申込内容に不備がないこと。
- 1 3. 費用 1) 講習会開催に要する費用は、県の負担とする。  
2) 講習会における資料代等は、30,000円(税込)とする。  
3) 交通費・宿泊費・必須図書購入費は受講者の負担とする。
- 1 4. 申込・問合せ先 山形県看護協会教育研修課 実習指導者講習会担当者 宛  
〒990-2473 山形市松栄一丁目5番45号  
TEL : 023-685-8033 Fax : 023-646-8868  
Eメール : [kensyu@nurse-yamagata.or.jp](mailto:kensyu@nurse-yamagata.or.jp)

- 1 5. その他 1) eラーニング受講には、以下の推奨環境を満たすパソコン・通信環境を準備すること。

OS	: Windows10、MacOS 10.15以上
ブラウザ	: Microsoft Edge 最新版、Google Chrome 最新版、Safari 最新版
ソフトウェア	: Adobe Acrobat Reader (最新版推奨)
メモリ	: 1GB以上(32bitOS)、2GB以上(64bitOS)
解像度	: 1024×768pixel以上
通信速度	: ブロードバンド環境推奨 (下り 10Mbpsを推奨)

- 2) 講習会は感染対策を施し、原則として集合して実施する。期間中は健康管理に留意し、体調不良時は来館を見合わせる事。
- 3) 履修時間数不足などの理由により単位認定できない場合は次年度以降に当該科目を再履修すること。  
本講習は、受講開始後3年以内に限り、単位を通算することができる。
- 4) 今後の感染状況等により、講習会日程表に変更が生じる可能性があるため、予備日に施設内勤務を行わない処遇に配慮し、集合研修期間中は研修に集中できる日程調整をすること。

第36回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会科目および目標・内容

区分	科目	単位数	時間数	目標及び内容	
基礎分野	教育の基盤	教育原理 *eラーニング	1	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 1) 教育の本質、目的 2) 教育活動の特性 3) その他	
		教育方法 *eラーニング	1	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 1) 授業形態、教育方法及び教材の活用 2) 教授—学習過程の理解 等	
		教育心理 *eラーニング	1	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ。 1) 成長発達に伴う学習者心理の理解 2) 学習過程における心理 等	
		教育評価 *eラーニング	1	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 1) 教育評価の目的と方法 2) 講義・演習・実習評価の方法 等	
専門分野	看護論	1	15	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 1) 健康の概念と健康支援 2) 看護の機能と役割 3) 倫理的課題とその対応方法 4) 看護場面と看護観の再構成	
	看護教育課程論	1	15	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる。 1) 教育課程(変遷と指定規則)の基本知識 2) カリキュラム全体における各看護学の位置づけ・ねらい・教育内容と構成	
	実習指導方法の基盤	実習指導方法論 (評価を含む)	2	30	実習指導の基本を学び、実習指導者の役割を理解する。 学生理解を深め、実習指導のあり方について理解する。 1) 実習の意義 2) 指導者の役割 3) 学生の特性を理解し指導につなげる。 実習における評価の意義や方法を理解する。 1) 実習評価の意義と方法 2) 実習評価の実際 その他 実習指導案について理解し、指導方法を学ぶ。 1) 実習指導案作成のプロセス(三観の考察) 2) 実習指導の方法
		実習指導方法演習	2	60	実習指導の展開の実際を学ぶ。 1) 実習指導案の作成および評価(課程別・学年別・領域別) 2) 実習の評価 等
その他	看護行政と法律		1.5	看護行政や看護の関連法規について学び、質の高い看護実践につなげる。	
	保健・医療・福祉の動向と看護の課題		1.5	我が国の保健医療福祉の現状を理解し、求められる看護と看護師像について考えを深める。	
	実践を支える看護理論		6	看護の主な概念や諸理論を理解し、自己の看護観を確かなものにする基盤形成をする。	
	その他		2	オリエンテーション	
合計		10	191		

第36回 山形県看護実習指導者講習会日程表

月	日	曜日	8:40~9:10	9:20~10:50 講師	11:00~12:30 講師	13:30~15:00 講師	15:10~16:40 講師	16:45~17:15	
4	25	金	開講ガイダンス10:00-12:00 教育研修課						
業者の指定する開始日 ~ 6/8(日)			教育原理	左記期間内に4科目全ての受講を終えること					
			教育心理						
			教育評価						
			教育方法						

月	日	曜日	8:40~9:10	9:20~10:50 講師	11:00~12:30 講師	13:30~15:00 講師	15:10~16:40 講師	16:45~17:15	
5	14	水		10時30分集合	保健・医療・福祉の動向と看護の課題 若月裕子	実践を支える看護理論	遠藤和子	eラーニング	
5	15	木	eラーニング	健康の概念と健康支援 菅原京子	看護の機能と役割 菅原京子	実践を支える看護理論	遠藤和子	eラーニング	
5	16	金	eラーニング	倫理的課題とその対応				寺島美紀子	eラーニング
5	17	土	休講						
5	18	日	休講						
5	19	月	eラーニング	看護教育課程の概要*			沼澤さとみ	基礎看護学 田中聡美	eラーニング
5	20	火	eラーニング		成人看護学 松浪容子	老年看護学* 牧野貴大	小児看護学* 今田志保	eラーニング	
5	21	水	eラーニング	母性看護学* 菊地圭子	地域在宅看護論* 松田友美	看護場面と看護観の再構成		遠藤和子	eラーニング
5	22	木	eラーニング			看護場面と看護観の再構成		遠藤和子	eラーニング
5	23	金	eラーニング	実習指導の原理*				布施淳子	eラーニング
5	24	土	休講						
5	25	日	休講						
5	26	月	eラーニング	精神看護学 安保寛明	看護行政と法律 菅野香	eラーニング			
5	27	火	eラーニング	実習における学生理解と指導者の役割				片桐智子	eラーニング
5	28	水	eラーニング	指導案作成のプロセス* 井上京子		実習評価の意義と方法		遠藤和子	eラーニング
5	29	木	eラーニング	実習評価の実際 山田カオル		実習評価の意義と方法		遠藤和子	eラーニング
5	30	金	eラーニング	実習指導の原理 布施淳子		実習指導方法の実際*		井上京子	eラーニング
5	31	土	休講						
6	1	日	休講						
6	2	月	eラーニング						
6	3	火	eラーニング						
6	4	水	eラーニング						
6	5	木	eラーニング	グループ演習1 教育研修課	グループ演習2 助言講師	グループ演習3 助言講師	グループ演習4 助言講師	eラーニング	
6	6	金	eラーニング	グループ演習5 助言講師	グループ演習6 助言講師	グループ演習7 助言講師	グループ演習8 助言講師	eラーニング	
6	7	土	休講						
6	8	日	休講						
6	9	月	自主学習	グループ演習9 助言講師	グループ演習10 助言講師	グループ演習11 助言講師	グループ演習12 助言講師	自主学習	
6	10	火	自主学習	グループ演習13 助言講師	グループ演習14 助言講師	グループ演習15 助言講師	グループ演習16 助言講師	自主学習	
6	11	水	自主学習	グループ演習17 助言講師	グループ演習18 助言講師	グループ演習19(課題共有) 助言講師	グループ演習20(課題共有) 助言講師	自主学習	
6	12	木	自主学習	グループ演習21 助言講師	グループ演習22 助言講師	グループ演習23 助言講師	グループ演習24 助言講師	自主学習	
6	13	金	自主学習	グループ演習25 助言講師	グループ演習26 助言講師	グループ演習27 助言講師	グループ演習28 助言講師	自主学習	
6	14	土	休講						
6	15	日	休講						
6	16	月	自主学習	グループ演習29 助言講師	グループ演習30 助言講師	グループ演習31 助言講師	グループ演習32 助言講師	自主学習	
6	17	火	自主学習	グループ演習33 助言講師	グループ演習34 助言講師	グループ演習35 助言講師	グループ演習36 助言講師	自主学習	
6	18	水	自主学習	グループ演習37(発表会) 助言講師	グループ演習38(発表会) 助言講師	グループ演習39・40ノリフレクション		教育研修課	

【受講推奨講座】※本講習会(特定分野)におけるプログラム(対面授業)の公開です。受講希望者は受講申込時に申請してください。

5	12	月	教育学(教育原理・心理・方法・評価)					
---	----	---	--------------------	--	--	--	--	--

注1) \*は実習指導者講習会(特定分野)と合同講義になります。

注2) eラーニング・自主学習の時間帯の来館は必須ではありませんが、感染状況や講師都合等により授業の時間割変更が生じた際の振替え日(時間)に  
する場合がありますので 出席対応ができるよう受講者所属施設内の勤務日に充てないようご注意ください。

注3) eラーニング学習時間は、予備日(時間)や休講日を活用し、期間内で自己調整してください。